

認可外保育施設運営状況報告書 (令和 年 月 日現在)

令和 年 月 日

愛知県知事殿

施設設置経営者

住所

氏名

1 基本事項

施設名	
施設所在地	〒
施設電話番号	
メールアドレス	
最寄駅	線 駅 バス・徒歩 分
設置者名	
設置者住所	〒
設置者電話番号	
事業所開始年日	
管理者氏名	
管理者住所	〒
系列施設	有 (県内 か所・県外 か所 [直営店・FC]) ・ 無

注 管理者氏名は、施設長等貴施設における、保育の実施責任者の氏名及び職名を記入すること。

2 建物設備の状況

建物の構造	造 m ² 階建の 階部分		
建物の形態	雑居ビル・集合住宅・個人住宅・専用建物・その他 ()		
区分	部屋の室数・面積	採光・換気	2階以上の場合
乳児室	室 m ²	適・不適	非常口 (有・無) 非常階段 (有・無) 転落防止設備 (有・無)
保育室	室 m ²	適・不適	施設付近の公園等の状況 公園 (有・無) 有の場合 (公園) (徒歩 分)
調理室	室 m ²	(手洗設備) 有・無	
その他	室 m ²	—	
合計	m ²	—	遊具の種類 ()
便所の状況	手洗設備 (有・無) 消毒液・石鹸等 (有・無) 便所の数 児童用 大__個、小__個、大小兼用__個 職員用 大__個、小__個、大小兼用__個 ※ オマールの数 __個		
敷地面積	m ²	屋外遊戯場	有 (m ²) ・ 無

注 便所の数は、児童用は特になく、職員と共用の場合は職員用に計上のこと。

3 非常災害計画等

非常災害計画書	避難訓練の実施状況	実施後の記録	消火器具
有・無	月1回 ・ 未実施 ・ その他 以上	有・無	消火器 個 消火栓 個

- 注 1 非常災害計画書とは、火災・地震等に対する避難訓練の計画書をいうものであること。
2 非常災害計画書の写しを添付すること。

4 開所時間

	通常開所時間	時間外（延長）開所時間	備考
平日	: ~ :	: ~ :	
土曜日	: ~ :	: ~ :	
日曜日	: ~ :	: ~ :	
祝日	: ~ :	: ~ :	
休業日			

- 注 1 時間については、24時間制で記入すること（例・午後6時の場合 18:00 と記入）。
2 常時24時間開所している場合は、備考欄に「24時間開所」と記入すること。

5 提供するサービスの内容

利用形態	受入対象年齢
月極預かり	～ 才、 学童（有・無）
一時預かり	～ 才、 学童（有・無）
夜間保育	～ 才、 学童（有・無）
24時間保育	～ 才、 学童（有・無）
病時保育	～ 才、 学童（有・無）
障害児保育	～ 才、 学童（有・無）
その他（ ）	～ 才、 学童（有・無）

↑ 該当するものに○をうつこと。

6 保育料

区分	月額	日額	時間単価	その他必要な料金	
				料金	内容
昼間	円	円	円	円	
夜間					
宿泊					
24時間					

- 注 1 「その他必要な料金」とは、給食費、入会金、キャンセル料等をいうものとする。
2 記入の代わりに、料金一覧表を添付しても差し支えないこと。

7 入所定員の状況

① 定員数

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	学童	計
入所定員	人	人	人	人	人	人	人	人

- 注 定員について特に定めがない場合には、貴施設において職員配置や設備の面を考慮して、同時に保育を行うことが可能な人数を記入すること。

② 定員の規定方法

(約款 ・ パンフレット ・ その他 () ・ 規定なし)

注 規定がある場合、約款等の写しを添付すること。

③ 入所対象児童

限定の有無	有 ・ 無
限定有りの場合 右の1, 2のうち、 該当するものに ○をうつこと。	1 店舗等(デパート、美容院、自動車教習所等)の顧客の乳幼児のみ 2 その他 ()

注 原則入所児童を限定している場合でも、実際その児童以外の児童を保育している場合はその旨を欄内余白に記入し、報告書作成時の当該児童数を記入すること。

8 在籍児童数 (実績)

区 分			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	学童	計
1	一時 預り	1日のうち数時間 預かるもの	人	人	人	人	人	人	人	人
2	昼間	引き取り時間が 午後8時までのもの (保育所とほぼ同様)								
3	夜	引き取り時間が 午後10時までのもの								
4	深夜	引き取り時間が 午前2時までのもの								
5	宿泊	引き取り時間が 午前2時を超えるもの								
6	長期 滞在	24時間を超えて 続けて預かるもの								
合 計										

9 退所児童の状況

区 分	認可保育所へ 行ったもの	幼稚園へ 行ったもの	小学校へ 行ったもの	家庭で 保 育	そ の 他	計
退所児童数	人	人	人	人	人	人

注 報告日の属する月より前の1年間の状況について記入すること。

10 職員配置数について

区 分		保育従事者 (有資格)	保育従事者 (無資格)	その他職員 ()
職員配置数 (実績) (. . . 現在)	8:00～20:00	人	人	人
	20:00～2:00	人	人	人
	2:00～8:00	人	人	人
職員配置数 (今後の予定)	8:00～20:00	人	人	人
	20:00～2:00	人	人	人
	2:00～8:00	人	人	人

注1 配置数は実績、予定とも、当該施設の有資格保育従事者、無資格保育従事者、その他職員のそれぞれの1日の勤務延べ時間数の合計を8で除いて得た数を書くこと。

2 保育従事者の有資格者とは、保育士又は看護師の資格をもつ者とする。

11 保険の加入状況

加 入 の 有 無		有 ・ 無
加入 保険 について	保険の種類	損害賠償保険 ・ 障害保険 ・ その他 ()
	保 険 事 故 (内 容)	
	保 険 金 額	

注 保育する乳幼児に関して契約しているものについて記入すること。

12 提携する医療機関の状況

提 携 の 有 無		有 ・ 無
提携する 医療 機関	名 称	
	所 在 地	〒
	提携内容	

1.3 安全・衛生管理の状況

安全管理	施設内の安全管理 適 ・ 不適		暖房器具の固定、燃焼部の覆い (適 ・ 不適)	
	※ 下記の箇所に危険物がない、放置物品がない、 児童の進入防止策がある場合は適、欠けている ときは不適とすること。 (保育室 玄関 非常口 階段 通路 窓 台所 便所 浴室 ベランダ)		電気・ガスコンセントの危険防止策 (適 ・ 不適) 書庫、タンス、ピアノ等の転倒防止 (適 ・ 不適) 棚等からの落下物防止 (適 ・ 不適)	
衛生管理	保育室の 清掃方法・回数		哺乳瓶の 消毒・保管	
	便所の 清掃方法・回数		衣類の 洗濯・消毒方法	
	調理室の 清掃方法・回数		寝具の 乾燥・消毒方法	
	食器の 消毒・保管		玩具類の 洗濯・消毒方法	

1.4 給食の状況

区 分	朝 食	昼 食	夕 食	お や つ
乳 児	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
幼 児	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

保育施設での調理	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
調 理 無 の 場 合	保護者持込の弁当・業者納入の弁当・社員食堂(病院の給食部門)で調理				
調理 有の 場合	献 立	有 (作成者) ・ 無			有 ・ 無
	保存食の実施	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

1.5 児童の健康管理状況

① 健康診断の状況

区 分	第 1 回	第 2 回
入 所 時	施設で実施 ・ 診断書の提出 ・ 母子健康手帳で確認 ・ 未実施 (未実施以外の場合：個人記録 有・無)	_____
定 期	施設で実施 (月 日) ・ 診断書の提出・母子健康手帳で確認 ・ 未実施 (未実施以外の場合：個人記録 有・無)	施設で実施 (月 日) ・ 診断書の提出・母子健康手帳で確認 ・ 未実施 (未実施以外の場合：個人記録 有・無)

注 定期区分においては、直近の実績を記入すること。

② 健康状態の観察方法（該当するものに○をつけること。）

区 分	受入時	日 中	降園時	方 法		
				視 診	連絡帳	その他
毎日行っている						
そ の 他						

③ 屋外遊戯・外気浴の状況（該当するものに○をつけること。）

区 分	方 法（具体的に記入）
毎日行っている	
毎日行っていない	
そ の 他	

④ 日常の保育に必要な主な医薬品の状況

（用具については、あるものに○をつけ、薬品については、あるものを記入すること。）

体温計 ・ 浣腸器 ・ 氷枕 ・ 氷のう ・ 湯たんぽ ・ カイロ ・ 吸入器 ピンセット ・ はさみ ・ 毛抜き ・ 綿棒 ・ 脱脂綿 ・ 絆創膏セロテープ 油紙 ・ ガーゼ ・ 滅菌ガーゼ ・ 包帯 ・ 三角巾 ・ 副木 薬品（ ）

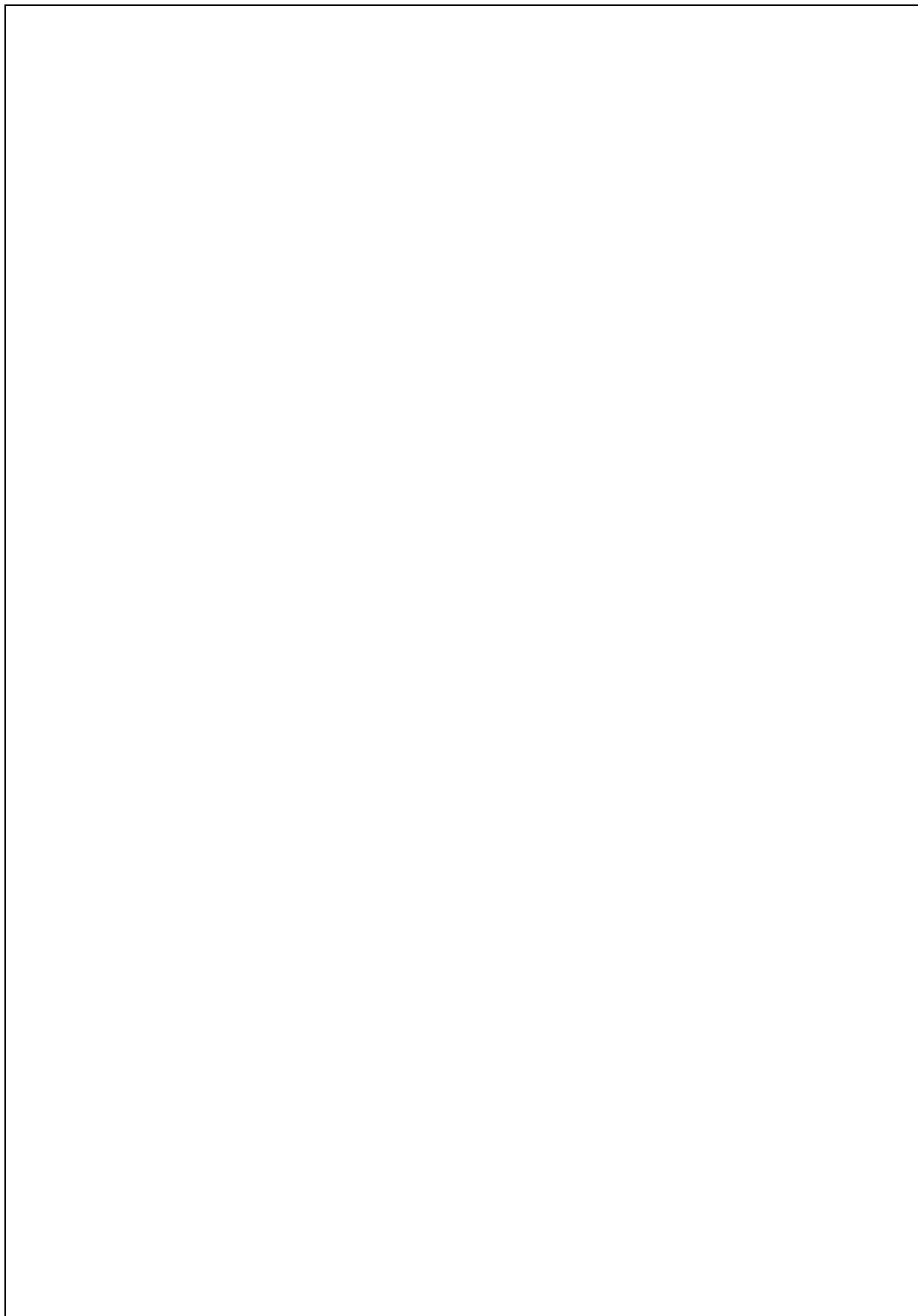
16 職員の健康管理状況

① 健康診断の状況

採 用 時	施設で実施 ・ 診断書の提出 ・ 未実施 (未実施以外の場合：個人記録保存 有 ・ 無)
定 期	施設で実施（ 月 日） ・ 診断書の提出 ・ 未実施 (未実施以外の場合：個人記録保存 有 ・ 無)

② 調理に従事する職員の検便実施状況（該当するものに○をつけること。）

区 分	実 施 回 数	直 前 2 回 の 実 施 状 況
実施している	年・月 回	月 日 ・ 月 日
実施していない	—————	—————



注1 前年度と変更がない場合であっても記載の上、提出すること。

- 2 概略図でよいこと（既存のものがあれば、それを添付してもよいこと）。
- 3 各室名及び各室の面積を平面図上に記入すること。
- 4 消火器は○印を、消火栓は「栓」の字を平面図上に記入すること。

